

会 議 録

会 議 名	令和4年度第2回砥部町地域福祉計画策定委員会
日 時	令和5年3月28日火曜日 14時～16時30分
場 所	砥部町役場 3階 議員協議会室
参 加 者	○策定委員 (出席者)13 人 正岡知司委員長、白形理恵副委員長、森川政子委員、西岡佳代委員、香川知美委員、 安原優子委員、篠森華奈委員、野村りえ委員、小椋美名子委員、矢野恭宣委員、 稲田憲治委員、田中美延里委員、松村美江子委員 (欠席者)1人 日野林一樹委員 ○事務局 ・子育て支援課長 田中弘樹 ・介護福祉課 課長 堀潤一郎 ・介護福祉課 課長補佐 佐々木 毅 ・介護福祉課社会福祉係長 岩田恵子 ・(株)ジャパンインターナショナル総合研究所 衆鶴 蓮
次 第	1. 開会 2. 委員自己紹介 3. 議事 議題1 アンケート調査・ヒアリング調査の結果について 議題2 次年度のスケジュールについて 議題3 その他 4. 閉会

発言者	内 容
	(14:00)
	1. 開会
	2. 委員自己紹介
	3. 議事
	<u>議題1 アンケート調査・ヒアリング調査の結果について</u>
委員長 事務局	議題1アンケート調査・ヒアリング調査について、事務局より説明願います。
委員長	【説明】
委員	ご意見はありませんか。
事務局	回収率が低いように感じました。4割前後の回収率というのはどうなのでしょう。 3割を超えると回収率は高い方だと思います。砥部町の 39.4%は他の自治体と比べても高いので、住民の方がしっかり答えてくださっている印象です。
委員	ボランティアについて、ここ2, 3年コロナで思うように活動できていないのですが、中学生・高校生や医療技術大学に声をかけて行事に参加してもらい、楽しく活動しています。声かけは社会福祉協議会がしてくれており大変助かっています。グループや会員も減少するなど課題はありますが、頑張っ活動していこうと思っています。
事務局	中学生アンケート結果において、「ボランティア活動に参加したことがない」が約43%と高くなっているのですが、本来なら社協フェスタ等の町のイベントに参加していたことがコロナの影響でできなくなっており、参加できる場が少なかったため参加率が低くなったと考えられます。
委員長	その他、ご意見ご感想をお願いします。
委員	社会福祉協議会についての設問がありますが、「社会福祉協議会を知っている」の69.4%に対し、「社会福祉協議会の取り組みや事業を知らない」が 60.8%となっており、社会福祉協議会が何をしているのか知らない方が多いことが分かりました。今後の課題にしたいと思います。また、生活困窮者への支援が必要だと思う方が8割以上となっており、コロナの影響による収入減や価格高騰による支出の増加が反映していると考えられます。
委員長	犯罪者更生の観点から、ご意見ををお願いします。
委員	保護司とは違う活動をしており、刑務所から出て帰る所がない方のいる寮に、夕食の準備等のボランティアをしています。現在、松山学園には2人しかいないので、来年には香川県に統合されます。どのように接していいか、まだ深く関われていませんが、動物園のペンキ塗りなどの活動を行っています。
委員	中学生アンケート結果の住み続けたい理由に「地域の人の人柄が良いから」が77.1%となっており、子ども達と地域の交流が積み重なっている結果だと感じました。砥部町の強みだと思います。地域別など比較対象があると、さらに読みとれると思いました。中学生の親世代の30代、40代では「住み続けたい」と思う住民の数値が上

委員	がっています。回答率も高いので協力的な印象を受けました。40代になると福祉への関心も高くなっています。 現場にどうやってフィードバックされるか、誰がやるのかを考えていかなければ住民には届きません。また、地域福祉を考える際に地域の組織として自治会は不可欠です。地域福祉の勉強もしていますが、自治会にはこのような問題についてどうするか、といった話はありません。現場のパイプ役をどのように作っていくかが課題だと感じています。
委員長	その課題は大事なことなので、検討できたらと思います。では、団体アンケート調査結果報告をお願いします。
事務局	【説明】
委員長	ご意見ををお願いします。
委員	どの団体も活動の周知の工夫をしていると思うのですが、広報誌による情報収集を住民はされていることが多いと分かったので、ブログや SNS などの活用も大事ですが、紙媒体での周知というものも大事だなと感じました。また、コロナ禍に関係なく、全体としてつながりや関係性の希薄化が見られるのかなと思いました。
委員	感想になるのですが、障害のある方に対する情報は入手しにくいのはもちろんなのですが、それ以外の一般住民に対する情報提供も大事なのかなと思いました。また、中学生アンケートで子どもたちが交流や繋がりに対して関心を持っていच्छることが嬉しく思いました。
委員	砥部町は障がい者が少ないのかなと思いました。
委員	障がい者を地域に返しましょうという動きがあるかと思いますが、そういったところをもっと充実させて頂けたらいいなと思います。また、娘の話になりますが、学校時代は関わりがあって仲良くしてくれていたが、成人式などで久しぶりに会うとひとりぼっちだった現状がありましたのでそういったところも支援いただければいいなと思います。
委員	80代の女性のケースなのですが、障がい2級を受けたのですが、今後身寄りもいないし、生活費などを心配している人がいるのですが、そういった方に対する支援はありますか？
委員	土地を担保に生活費を貸し付けるという社協の事業はあります。
委員	役員のなり手がいないことが、どの地区・団体にもある課題なのかなと思いました。また、情報提供について、広報とベが多くなっている一方で、広報を届けるためには自治会に入っていなければならない等の問題があるので、全員には届いていない。そこについては、見直しの必要があるかなと思いました。また、防災訓練の参加についてですが、低い理由は参加機会がないのかなと思いました。各自治体で防災訓練を行っているところはあると思いますが、防災訓練の機会を広げる必要があるのかなと思いました。
委員	防災訓練について、私の住んでいるところでは防災訓練を一回だけ参加したことがあるのですが、ぼや騒動が起きた際に、訓練通りに動くことができた経験があります。大きいところで訓練をする話は聞くが、小部落で訓練する必要性を感じます。
委員長	ありがとうございました。先ほどからご意見が出ています防災や福祉教育などのご

事務局 委員長 委員 委員長 委員 委員 委員 事務局 委員 委員 事務局 委員 事務局 委員 事務局 委員 委員	意見を踏まえた計画にできたらと思います。それでは続いて重点的に取り組むことについて事務局よりお願いします。 【説明】 ご意見をお願いします。 福祉教育の充実について、福祉というと若年層は高齢者や障がい者を連想しがちですが、地域で幸せに暮らすために必要なことであり、資源や制度をどんどん知ってもらいたいと感じました。 重点的に取り組むことについては、これからの大きな柱になりますので、お一人ずつご意見をお願いします。 生活困窮者への支援について、役場の担当課と連携して困っている方のニーズ把握をしたいと思います。 皆さんのご意見をもとにできた重点目標だと思いますので、この方向性で進めてください。 福祉教育の対象について、具体的に教えてください。 【説明】 福祉教育の充実について、講師派遣もしており、障がいというのはその人にあるのではなく、環境とその人の合わない部分に発生するという話を小中学生にしています。ぜひ活用してください。 生活困窮者への支援は生活保護のことでしょうか。 生活保護ではありません。生活に苦しい方を全体的に広くとらえています。 障がい児を対象にリトミックを開催しましたが、広めたいと思ってその術がありません。また、親子ですするための指導者を依頼しないといけないのですが、そういうノウハウもありません。このような活動をしているということを知らせる手助けをしてほしいと思います。 早めに原稿をいただくようになりますが、広報に掲載することもできます。 規模がどのくらいになるかによって、開催できるかどうか決まります。見通しが立てられないので不安なところもあります。 ご相談させていただきながら対応したいと思います。 振り返ってみるとボランティアはお節介なところもあり、そっとしてほしい人もいるのかもしれないと思いました。何かしてほしいと発信できる人はいいいけれど、発信できない人、言えない人たちのためにできることはないかと思うこともあり、ボランティアの難しいところです。 私の地域には子どもは非常に少ないですが、グラウンドがあり、雑草をはやさないように整備しています。そこに、松山市や地域外から団体で子どもたちが遊びに来ており、サッカーやキャッチボールをしています。地域にはこのように遊べる場所がないそうです。松山市に公園はありますが、ボール遊びができないなどいろいろな禁止事項があり、自由に遊べません。子ども達の遊び場がないのは課題だと思います。防災に関して、私の地区では麻生小学校と総合福祉センターが避難場所になっています。火災と地震を想定していますが、南海トラフ巨大地震があったときに麻生小学校や総合福祉センターでは避難所として十分ではありません。また、地震の時には道路は通
--	--

委員	れるのか心配しています。生涯学習センターを避難場所にしてはどうかと思ったのですが、災害時には自衛隊の駐屯地になっているようで使えません。自分事として考えた時に、防災の身近な問題にどのように取り組んでいくか課題です。 重点的に取り組むことは、どれも大切なことなのでしっかり進めたいと思います。防災に関して、地区で防災訓練をしていないので、取り組まなければいけないと感じました。ただ、どういうことをやったらいいのか具体的に分からないので、指導者の派遣やマニュアルがほしいと思います。「生活困窮者への支援」に関しては、こども食堂が常設であればいいと思います
委員	重点的に取り組むこと3点については大事なことだと思いますが、どの自治体でも共通するような課題だと思いました。もう一つ、子どもと高齢者のつながり、多世代間交流、砥部の地域特性を生かすなど、柱をつなぐようなものがあればいいのではないかと感じました。
委員	重点的に取り組むこと3つとも必要だと思います。特に「福祉教育」について、子どもが中心の行事があれば大人も自然に参加することになるので、防災も同様に、子どもと一緒に学ぶような行事を実施してはどうかと思います。先日、健常者が車イス体験をするイベントを開催しました。障がい者の苦勞が分かる体験になりますので、町でもそのような子ども達に体験させるイベントを考えるのも、一つの方法だと思います。防災に関しては、皆さんが行っているイベントや活動を町の広報に1ページずつ掲載して、紹介してほしいと思います。
事務局	重要な取り組みはこの3点でいいと思うのですが、生活困窮者という表現が適切なのでしょうか。社会的に支援が必要な方、困っている方を広くとらえられるような表現がいいと思います。「福祉教育」については、麻生児童館で子どもと高齢者が一緒に施設を利用しているので、世代間交流ができています。2030年SDGs、2050年カーボンニュートラルと、今の子どもが成人する頃に向けて2つの大きな課題があります。このようなテーマを子ども達と共有し、皆さんにも関わってもらえるとありがたいと思います。来年度以降、児童館でも取組を考えていますので、ご協力お願いします。
委員長	その他、ありませんか。ないようでしたら次の議題に移ります。 議題2 次年度のスケジュールについて
委員長 事務局 委員長	議題2 次年度のスケジュールについて、事務局より説明をお願いします。 【説明】 次年度のスケジュールについて、ご意見等ありませんか。特にないようでしたら、このスケジュールで進めていきます。 議題3 その他
委員長 事務局	その他について、何かご意見はありますか。 ないようですので、以上で本日の議題は終了しました。ありがとうございました。 委員長、議題の進行ありがとうございました。委員の皆様、長時間のご審議ありがとうございました。以上で本日の会議を終了します。